

分野別の状況

- (1) ASTERIA
- (2) Handbook
- (3) IoT向け新製品
- (4) コーポレート（全社）

主力製品①



ASTERIA

第3四半期連結会計期間のトピック

新バージョンと新ラインナップ

- 新バージョンによる機能強化、機能を絞り込んだ新ラインアップで適用領域拡大！

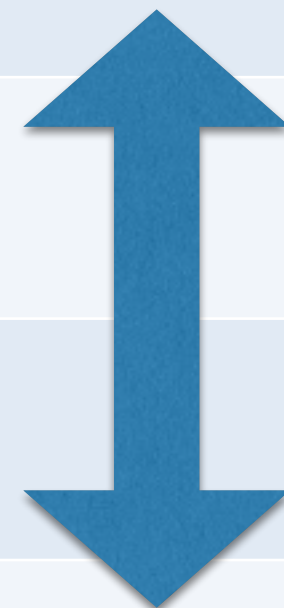


2016年10月末より提供開始

充実のASTERIAラインナップ

■ 部門利用から全社利用まで規模や用途に合わせて様々なラインアップを取り揃え

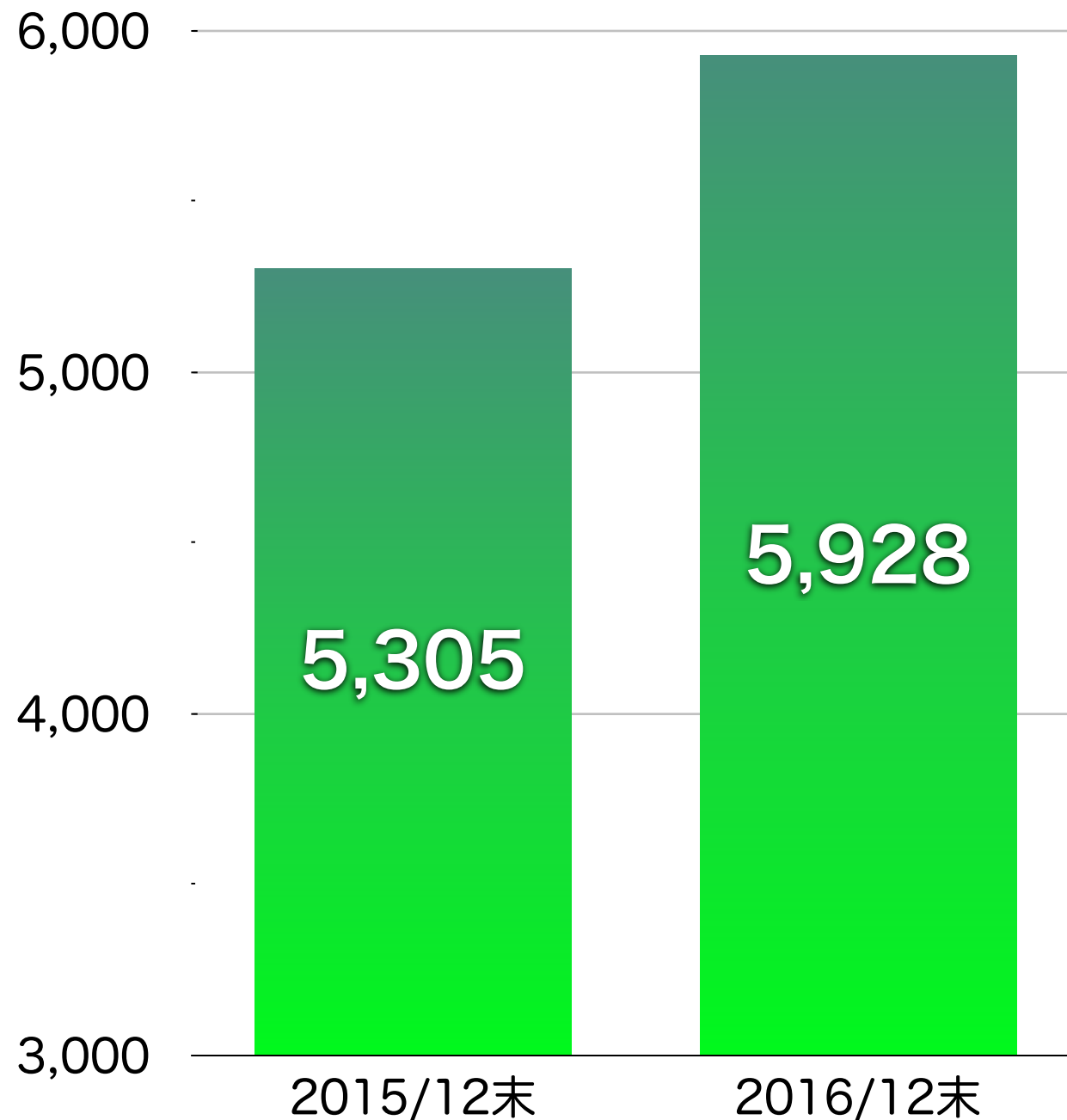
課金形態等 ラインアップ	ライセンス (初期料金のみ)	サブスクリプション (月額課金)	適用規模
Enterprise	600万円～	24万円/月～	大企業・全社展開
Standard	480万円～		
Core+	なし	6万円/月～	
Core	なし	3万円/月～	小規模・部門利用



導入社数は6,000社に迫る

(単位：社)

ASTERIA導入社数推移



- 直近12ヶ月間に、新たに623社がASTERIAを導入し累計導入社数は、

5,928社



さまざまな業種業態に広がる



- ソニー様（第1号ユーザー）、京セラ様（第2号ユーザー）等大企業から採用が始まり、現在は中堅企業へも採用が広がる。
 - 特定の業種・業態に特化せず様々な業種業態で採用。
- ※下記は、事例公開企業のみを掲載。

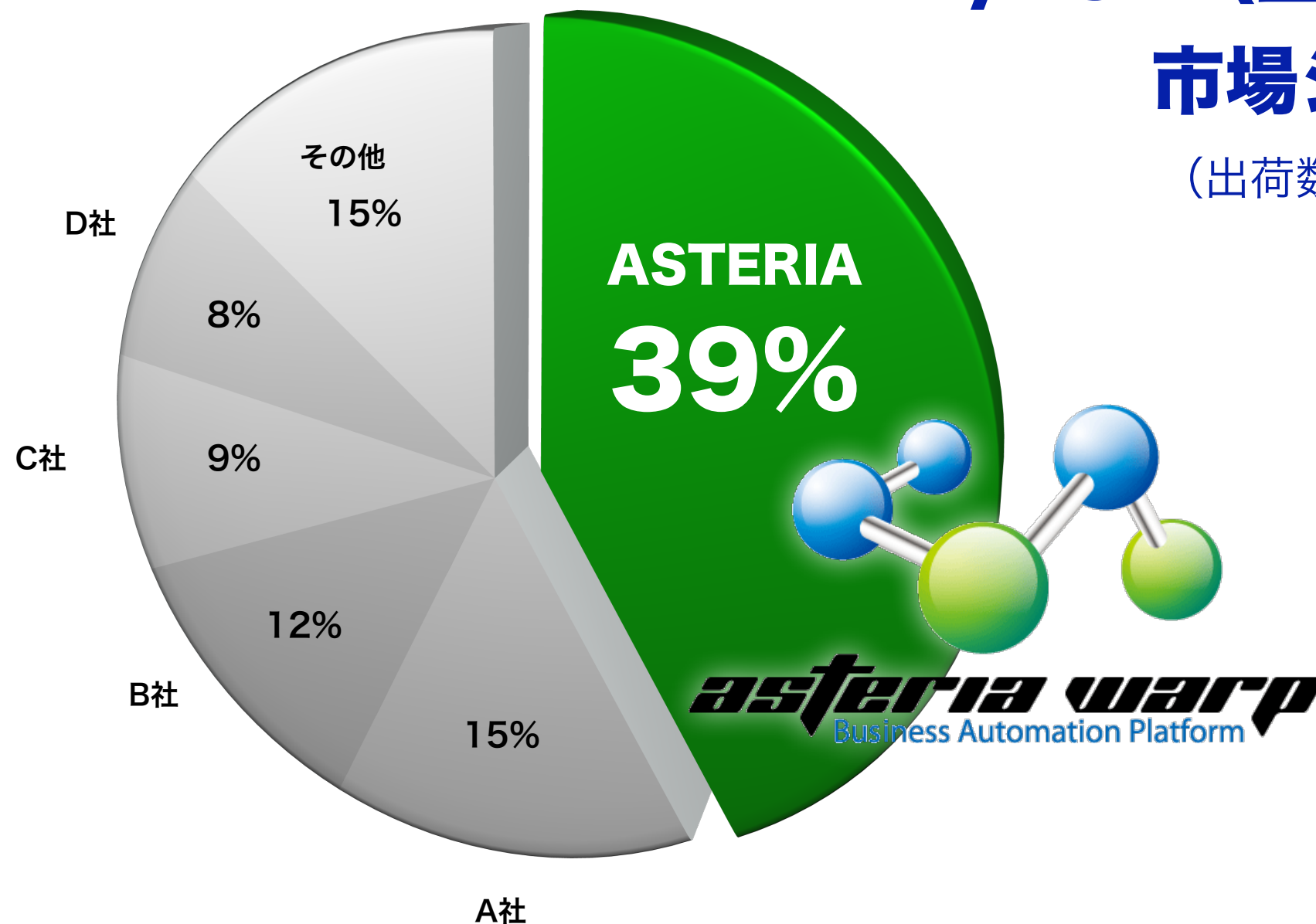


企業データ連携市場10年連続No.1

EAI/ESB（企業データ連携）

市場シェア

（出荷数ベース）

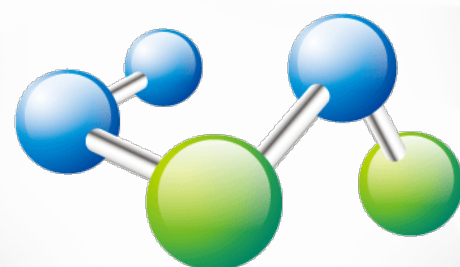


出典：2016年 ソフトウェアマーケティング総覧 EAI/ESB市場編
（テクノ・システム・リサーチ社）

重点施策：エコシステムの構築

パートナー

マスターパートナー
サブスクリプションパートナー
テクニカルパートナー
アダプター開発プログラム



asteria warp
Business Automation Platform

ユーザー

ユーザー導入事例
ASTERIAユーザーグループ(AUG)
デベロッパーネットワーク

cd data

infoteria

BCSS

標準ライセンス
サブスクリプション

販売・構築パートナーの充実

- 3社の新マスターパートナーによる販売網の拡充

JSOL
株式会社JSOL

マスターデータ管理における協業

NTT DATA
株式会社 NTTデータ関西

関西地域における展開を拡充

NTT DATA
株式会社 NTTデータ東海

東海地域における展開を拡充

「国境なき医師団」へのプロボノ

- 「国境なき医師団」におけるシステム連携にプロボノ提供
- 「保守割」ポイントを「国境なき医師団」に提供できるプログラムも開始



キャッシュバックOK!

保守割

ASTERIAの保守サービス
契約で、ポイントが獲得
できる仕組み

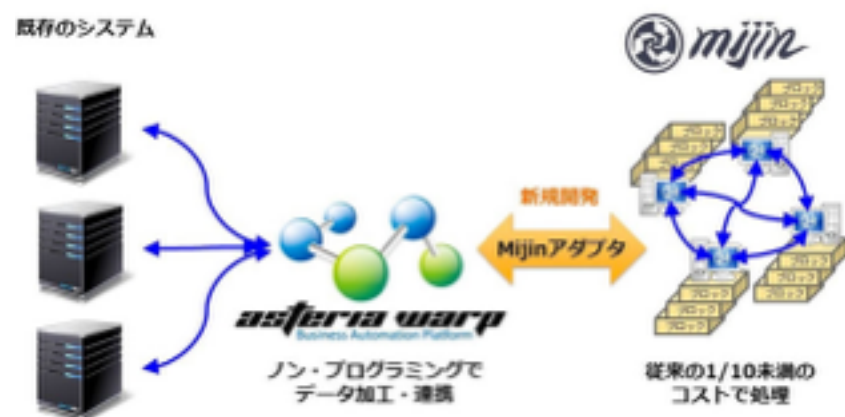


アダプター開発プログラム順調

■ アダプター開発プログラムによってASTERIAの接続先が続々と増加。

mijinアダプター

テックビューロ



JFT/SaaSアダプター

TOKAIコミュニケーションズ



クリプト便アダプター

NRIセキュアテクノロジーズ



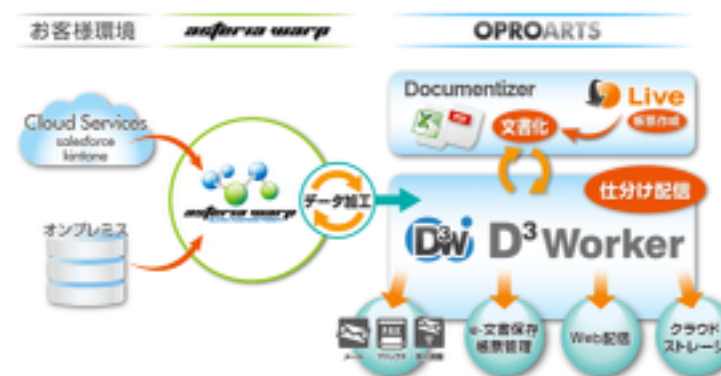
KREISELアダプター

信興テクノミスト



D3Workerアダプター

日本オプロ



ServAirアダプター

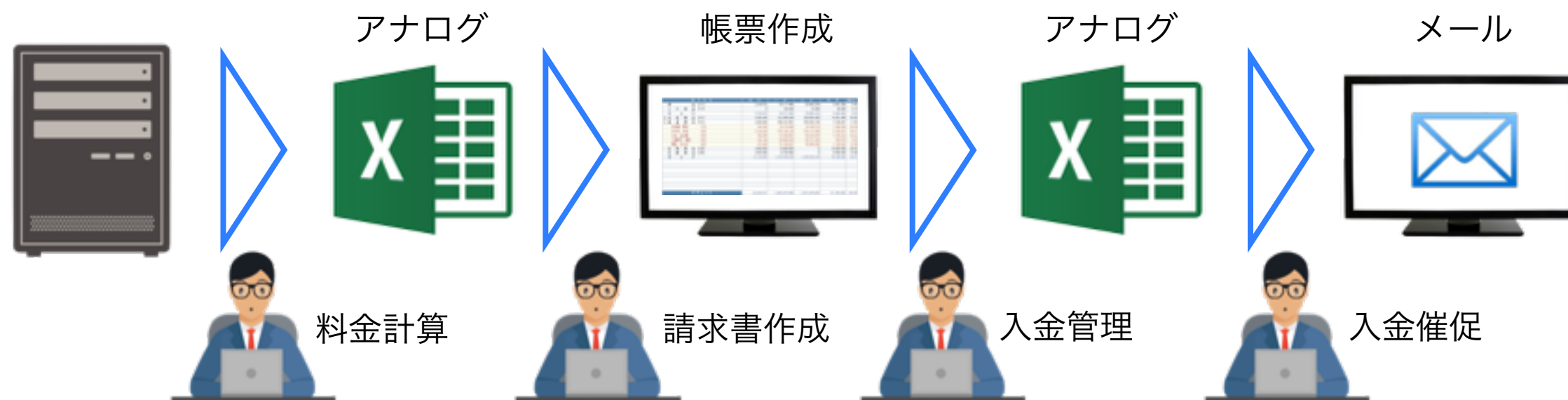
横河ソリューションサービス



RPAソリューション提供開始

■ 経理と金融機関を結ぶRPA（Robotic Process Automation）を実現

ビフォー



アフター (RPA)



活発なASTERIA Users Group活動

- AUG FESTA TOKYO/OSAKA開催
- AUG女子会、AUG関西支部始動
- ASTERIA×駅すぱあとハッカソン

基調講演
夏野 剛 氏

AUG FESTA TOKYO 2016



ASTERIA×駅すぱあとハッカソン



CData社との提携の成果



**60以上のデータソース
(接続先) が増加**

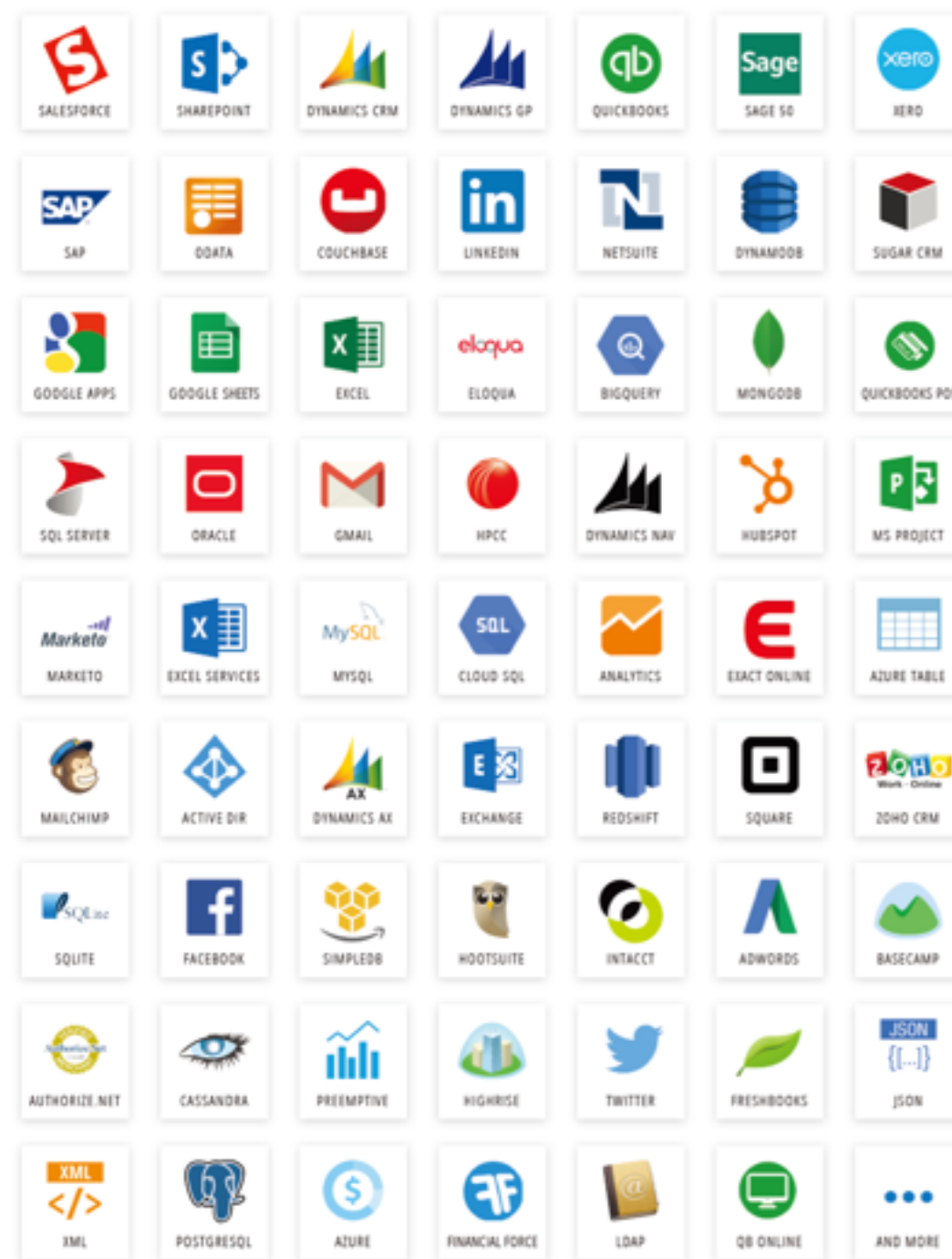
(2016年10月から提供開始)

CDATA Software Inc.

(米国ノースカロライナ州)

の日本法人を共同出資で設立

(2016年5月)



BCCC加盟100社突破

■ ブロックチェーン推進協会が 一般社団法人化

> 平野が代表理事に就任

■ BCCC加盟100社突破

> ユーザー企業が増加

■ ブロックチェーン大学校修了生 100名突破

■ デジタルJPY社会実験発表

■ 重要イベントでの講演多数

> CEATEC > Economist

> ITpro EXPO > メリルリンチ



Blockchain大学校の様子



Blockchain Collaborative Day開催



野口悠紀雄氏による基調講演



金融庁 神田潤一 企画官



大和証券 田中義明 参与

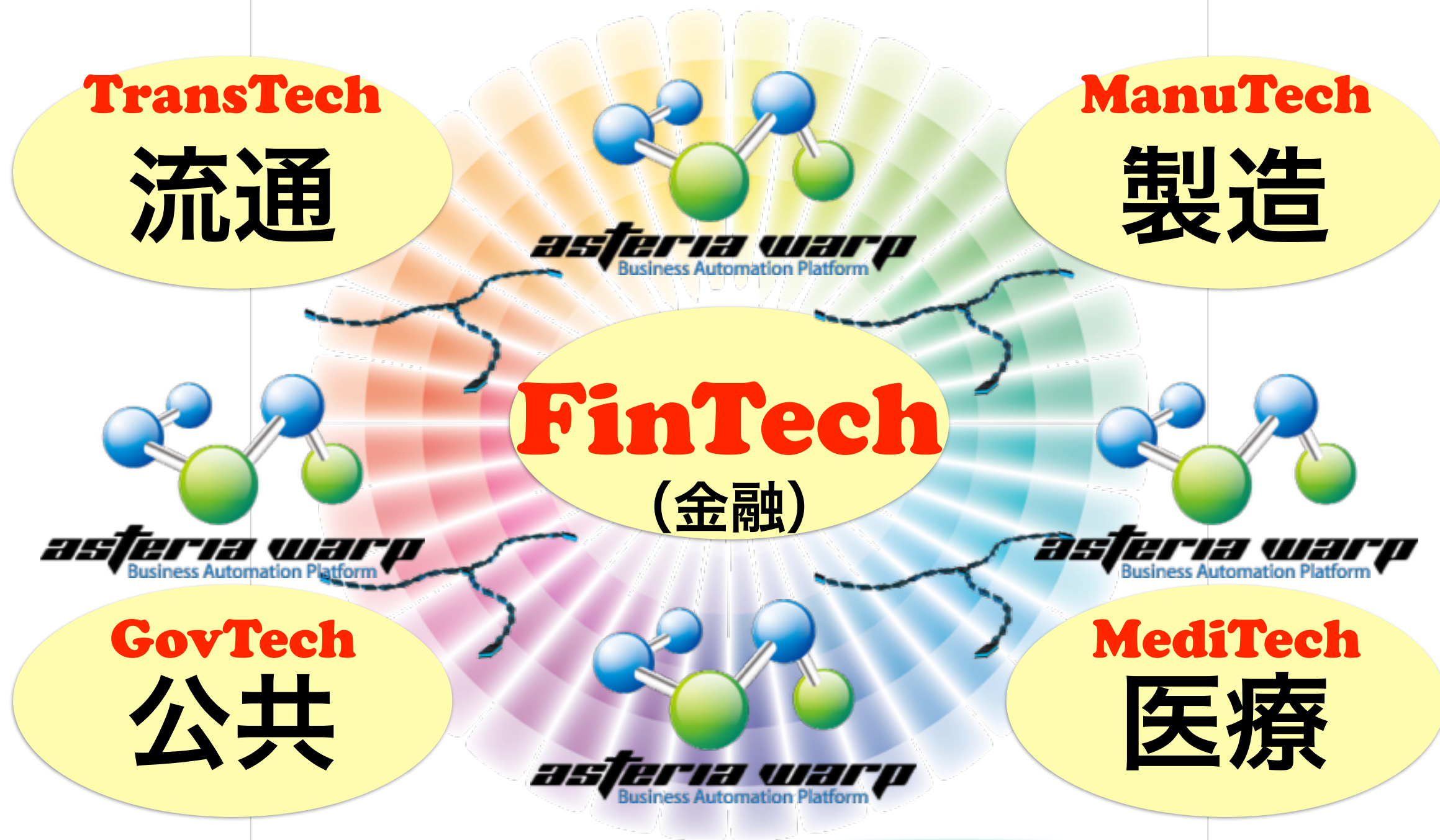


経済産業省 佐野究一郎 課長

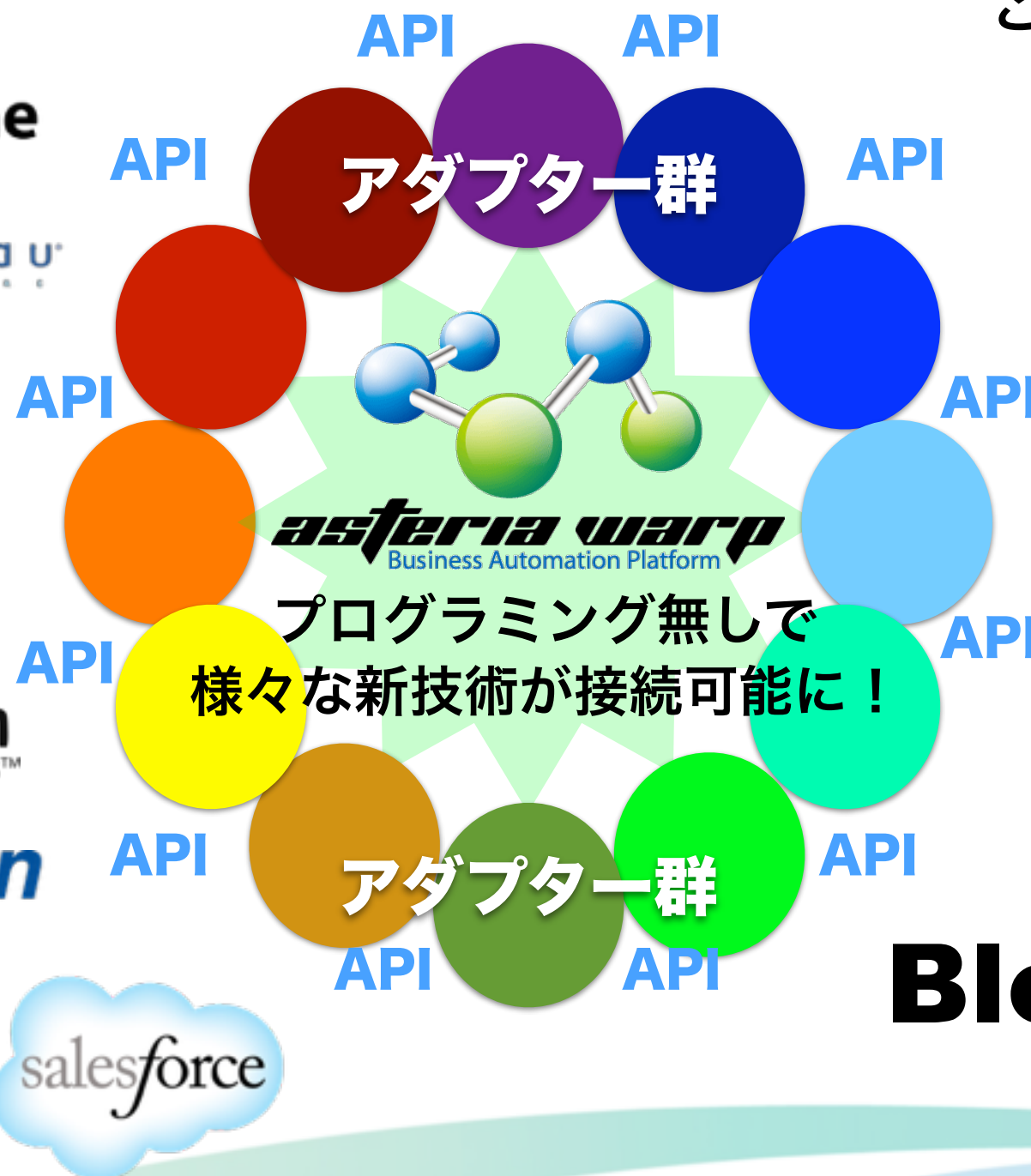
- 野口悠紀夫氏（一橋大学名誉教授）の基調講演
- 金融部会、リスク管理部会の発足を発表

ブロックチェーンは様々な産業に

■ 改竄が許されないデータは様々な産業に存在する



これまで...



これから...

FinTech

IoT

A

Robot

Blockchain

主力製品②



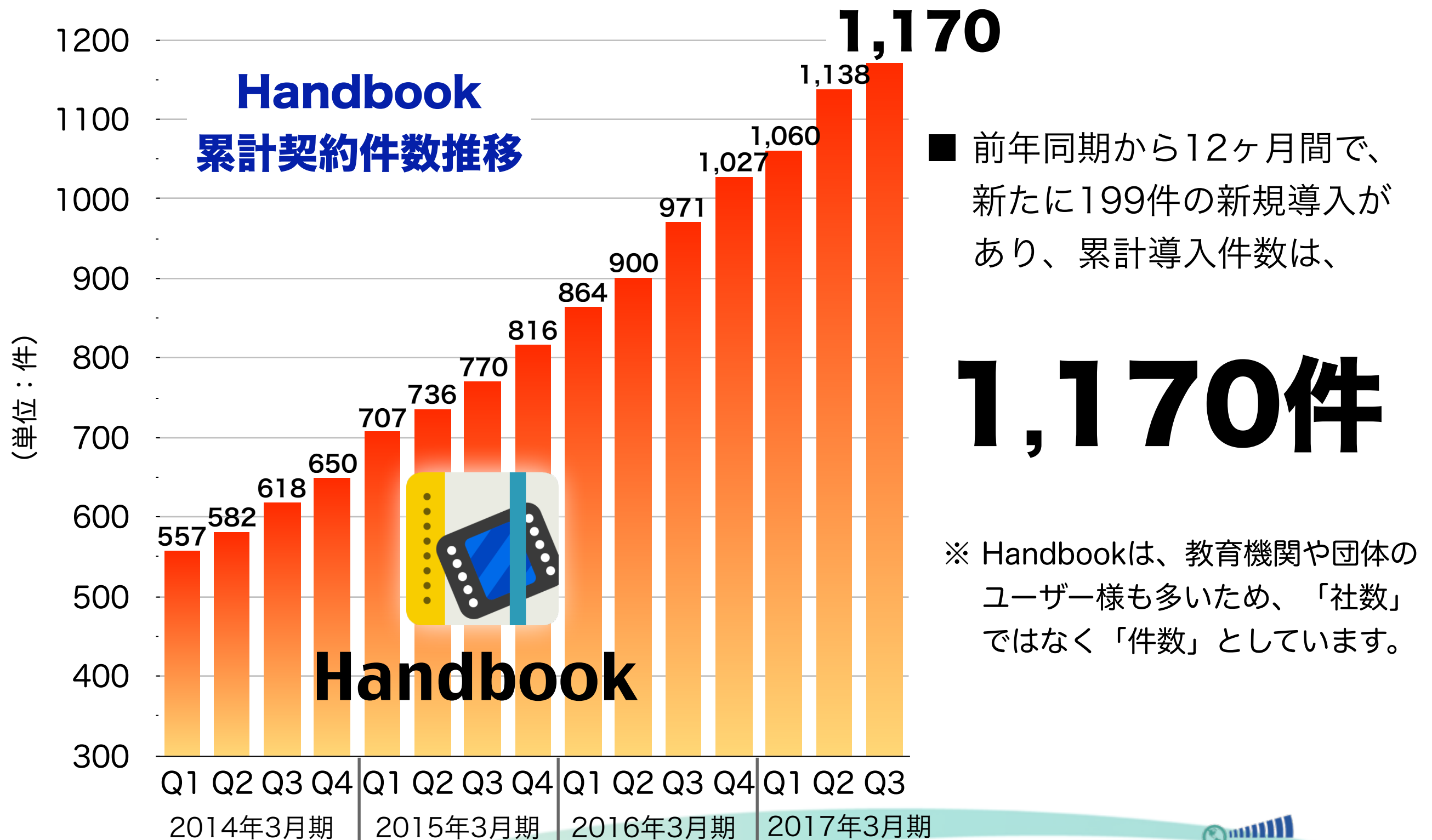
GOOD
DESIGN
AWARD
2015

Handbook

スマートに伝える、スマートに伝わる。

第3四半期連結会計期間のトピック

累計契約件数1200件に迫る

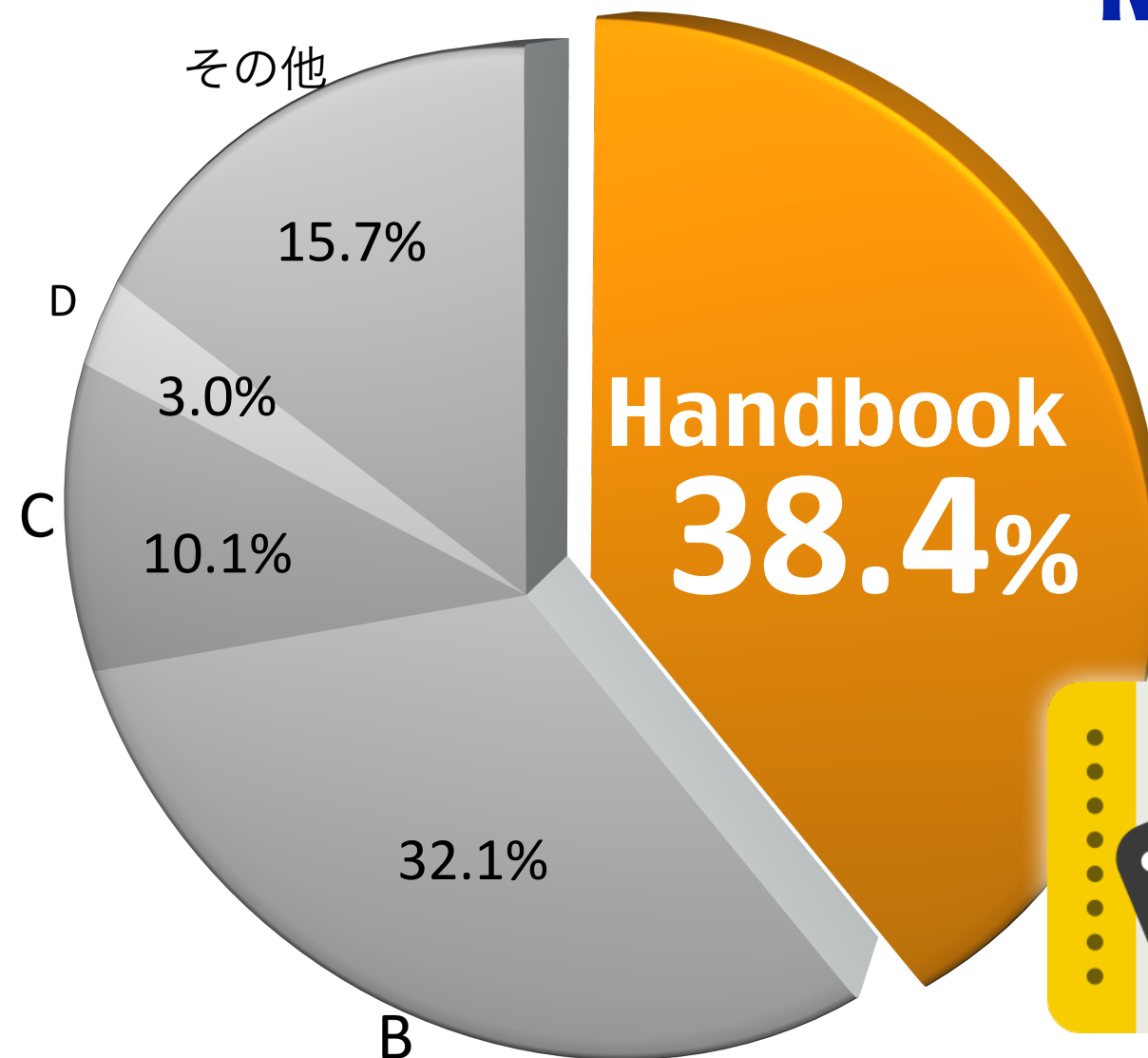


モバイル情報共有で市場シェアNo.1

2015年度

MCM (モバイルコンテンツ管理)

(SaaS型：金額ベース)



市場シェア No.1

出典：ITR Market View:エンタープライズ・モバイル管理市場2016

1,000件達成記念 角館「千本桜」の支援

- 秋田県仙北市角館の通称「千本桜」の保全のために100万円をふるさと納税（内閣府認定第1弾）
- 「Handbook」の360度映像機能を使って仙北市の観光名所を紹介。



秋田美彩館での仙北市長との共同記者会見



VR（360度画像・動画）に対応

- 「空間のアピール」や「空間の把握」などに威力を発揮
- リゾートトラスト様や秋田県仙北市での活用例を公開

360度カメラ



2016年10月19日発表

最近の事例：インバウンド（外国語）対応

- 言葉が通じないために商品案内が難しかった顧客に対してもタイムリーに商品案内ができるため商機を逃しにくくなった。
- 従来はレジにしか無かった持込制限や免税範囲に関する資料などを販売員が携帯できる。



Handbookを使って
訪日客を接客する



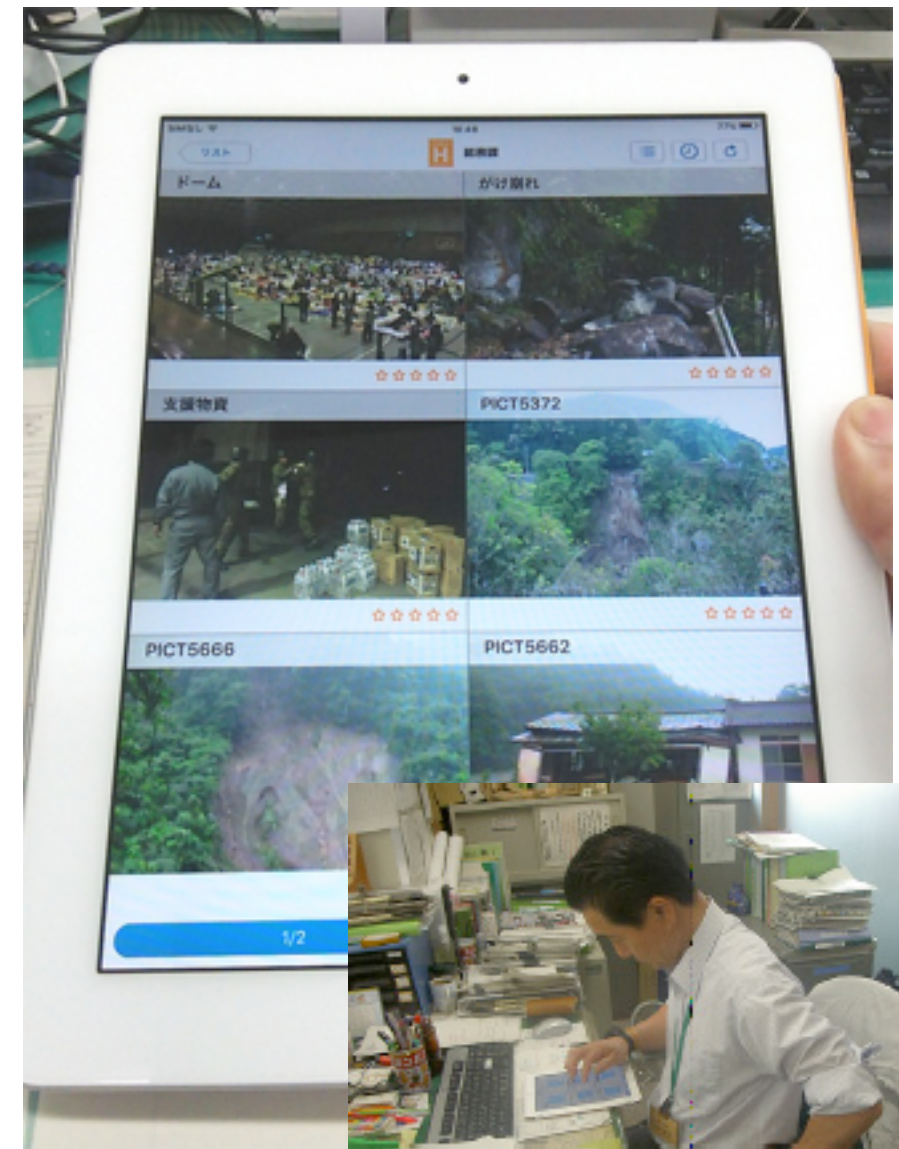
Handbookを使った指さし多言語案内

2016年7月7日発表

最近の事例：BCP（災害対策） 対応

- 熊本県小国町役場が災害時の行動マニュアルや被災現場の写真などの被災情報を共有。

実際の災害情報の情報共有



職員の利用風景



2016年8月31日発表

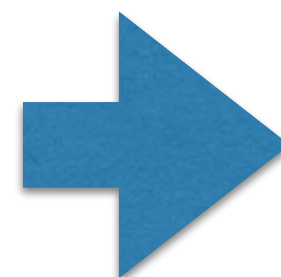


Handbookの成長戦略

01

スマートフォン での利活用促進

これまではタブレット中心



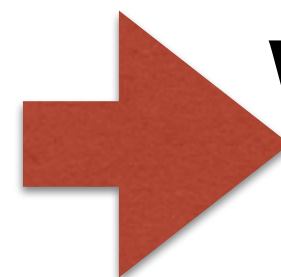
**市場規模
約4倍**

IDC: 2016予想

02

新Windows環境 への本格(UWP)対応

これまではユーザーの8割がiOS

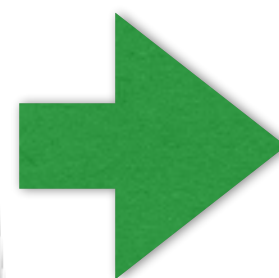


**Windows 10
PC市場**

03

インバウンド, BCP等の新用途

さらなる用途拡大



**拡大市場への
アプローチ**

IoT向け新製品

これから起こること

新たなビジョン



3つの「D」

Data (ビッグデータ & AI)

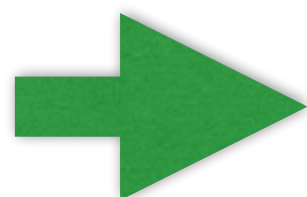
→データのみが企業IT資産になる

Device (スマート & IoT)

→デバイスが不可欠なインフラになる

Decentralized (分散)

→分散して協調ができる「個」の時代になる

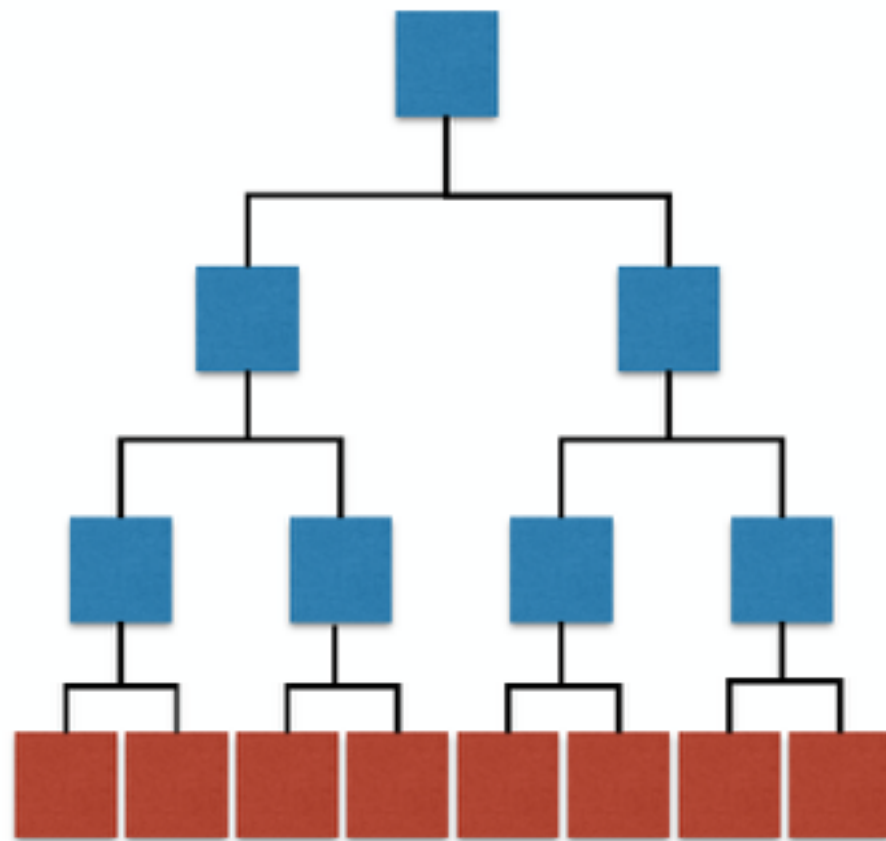


全てが**IoT**によって加速される

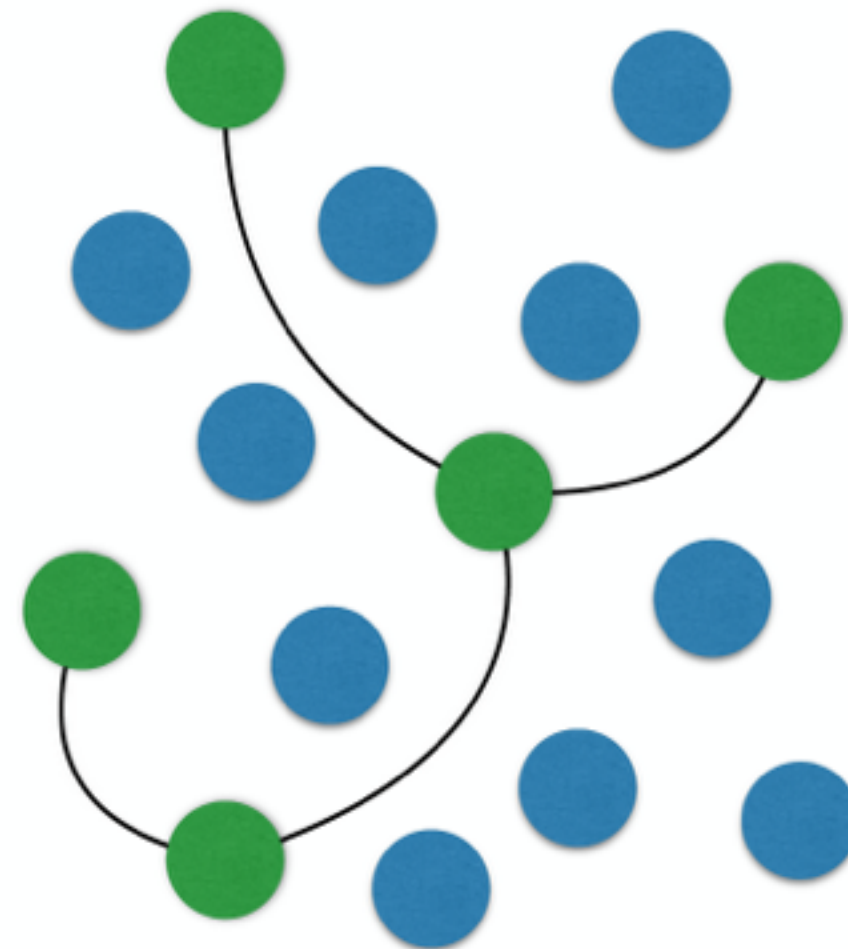
Decentralized (分散)

→分散して協調ができる「個」の時代になる

組織も社会もITも
「階層-規律-統制」から「自律-分散-協調」へ



20世紀型



21世紀型

インフォテリアのIoT製品

新たなビジョン



Platio (プラティオ)

※コード名：Hawking

→IoTアプリのノンプログラミング開発
& 配布が可能なモバイル・クラウド基盤



gravity (コード名)

→IoTのデータ収集・制御、クラウドAPIや
業務システムとの連携をノンプログラミング
で実現する連携基盤

IoTシステム2つの実装形態

M2M

(Machine to Machine)



機器同士が通信しプロセスを自動化

スマート工場、スマートメーター、
生体センサー

**2017年度第1四半期
提供開始予定**

M2P

(Machine to Person)



スマートフォン等を通じ人間が情報を
閲覧したりシステムにデータを集積

デジタルマーケティング、O2O、
モバイル購買、健康測定、ウェアラブル

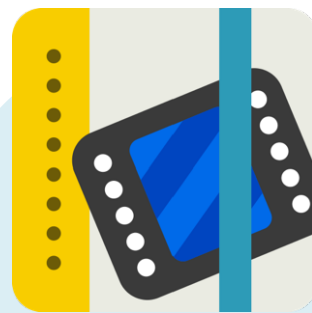
**2017年2月6日
提供開始**

つなぐ、インフォテリア

企業情報システム



システムと ヒトをつなぐ



Handbook

コラボレーションを促進する
モバイルコンテンツ基盤



システムと モノをつなぐ



Gravity
(コード名)

ビジネスを自動化する
エッジコンピューティング基盤

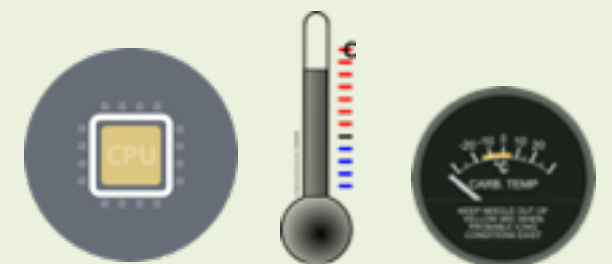
ヒト



Platio

ヒトとモノをつなぐ
フィールド業務を効率化する
IoTモバイル・クラウド基盤

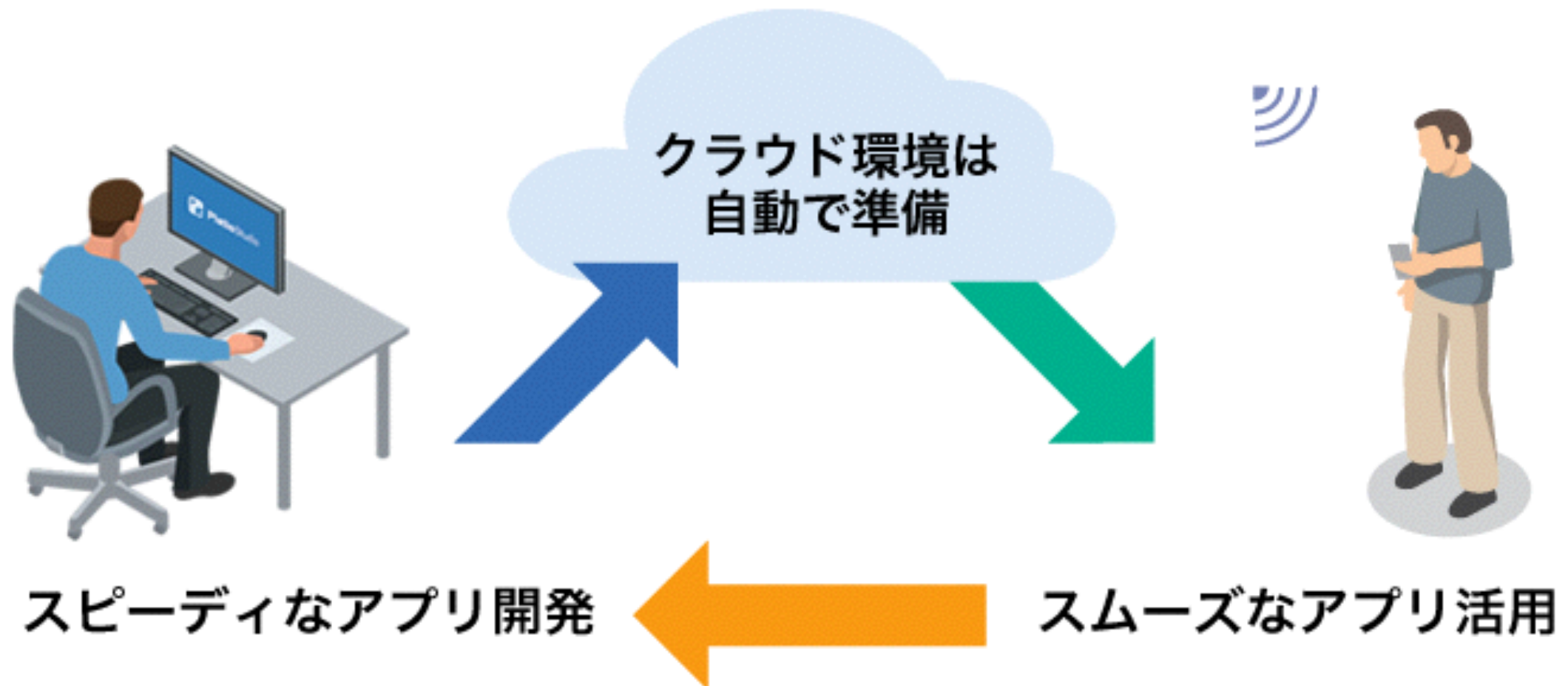
モノ(IoT)





IoTアプリ開発基盤「Platio」とは

- IoT対応アプリ開発をすぐに始めてアジャイル（俊敏）に進化させられる



連絡先

写真	名前	電話番号	Fax番号	メールアドレス	住所
	名前 (1)	555-2650-5187	555-2922-0126	email@example.co-	(35.68, 139.69)
	名前 (2)	555-5198-9657	555-5447-8595	email2@example.co-	(36.68, 140.69)
	名前 (3)	555-5360-4845	555-9749-2417	email3@example.co-	(37.68, 141.69)

連絡先





Platio: 想定される利用シーン

■ 現場の情報収集をBluetooth機器とスマホ活用で効率化します



製造・建設・保守現場

- ▶ 計測機器のデータを活用した作業報告や点検報告
- ▶ 安全確認チェックシート



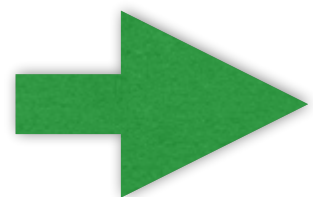
ヘルスケア

- ▶ 血圧計、体温計などからの入力
- ▶ 患者・被介護者のバーコード識別



小売・流通の現場

- ▶ 営業報告や設備・什器点検報告
- ▶ 在庫情報や仕入情報の共有



これから無線化が進み大きな市場に



IoT Future Lab.

ヒト、モノ、情報がつながるリアルな空間

国内最大級！IoT機器が勢揃い



総面積**530m²**に、**100個以上のIoT機器**を配置済



コーポレート

(全社)

第3四半期連結会計期間のトピック

コーポレート（全社）

＊中期経営計画発表（2016年5月）

▶ 2016年度～2018年度（3ヶ年）

＊国際会計基準(IFRS)対応完了（2016年6月）

▶ 国際比較性を高め海外投資家にも理解しやすく

＊社外取締役を過半数に（2016年6月）

▶ 元金融庁長官五味廣文氏が就任し社外比率75%に

＊M&Aに向けた資金調達（2016年8月）

▶ 最大約30億円（期限2年間）

＊LGBTへの取り組みで受賞（2016年10月）

▶ work with Pride “シルバー”

中期経営計画

2016年度～2018年度

売上**1.5倍**

24億円

営業利益**2倍**

6億円

(2015年度比)

(億円)

25

20

15

10

5

0

16

3

2015年度

1.5倍

2倍

24+

売上:海外

売上:国内

6+

営業利益

2018年度

テーマ

“Triple Twenty”

海外比率

20%台

フロー売上率

20%台

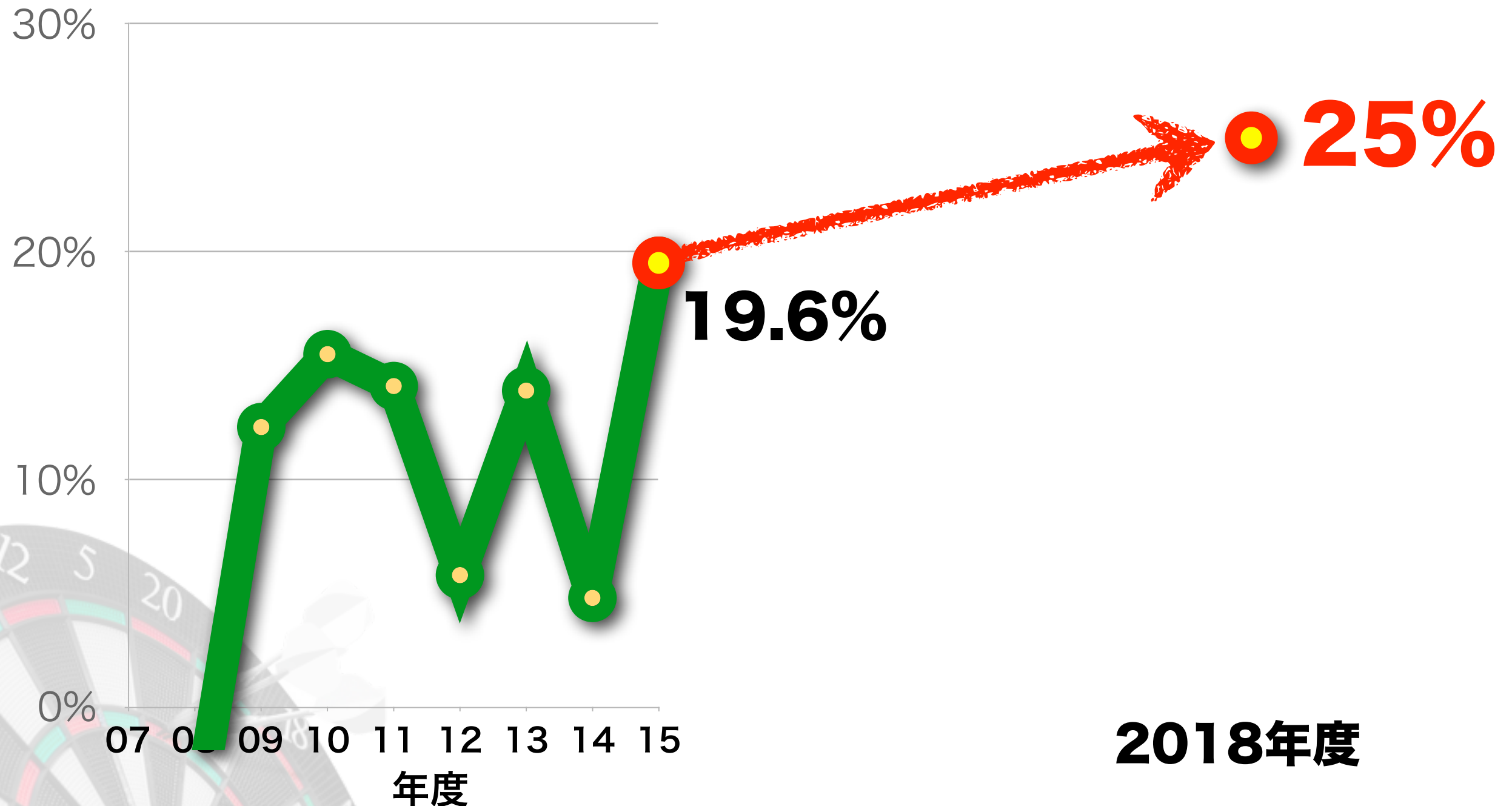
営業利益率

20%台

中期経営計画

2016年度～2018年度

営業利益率を**20%台**に
(増やす)



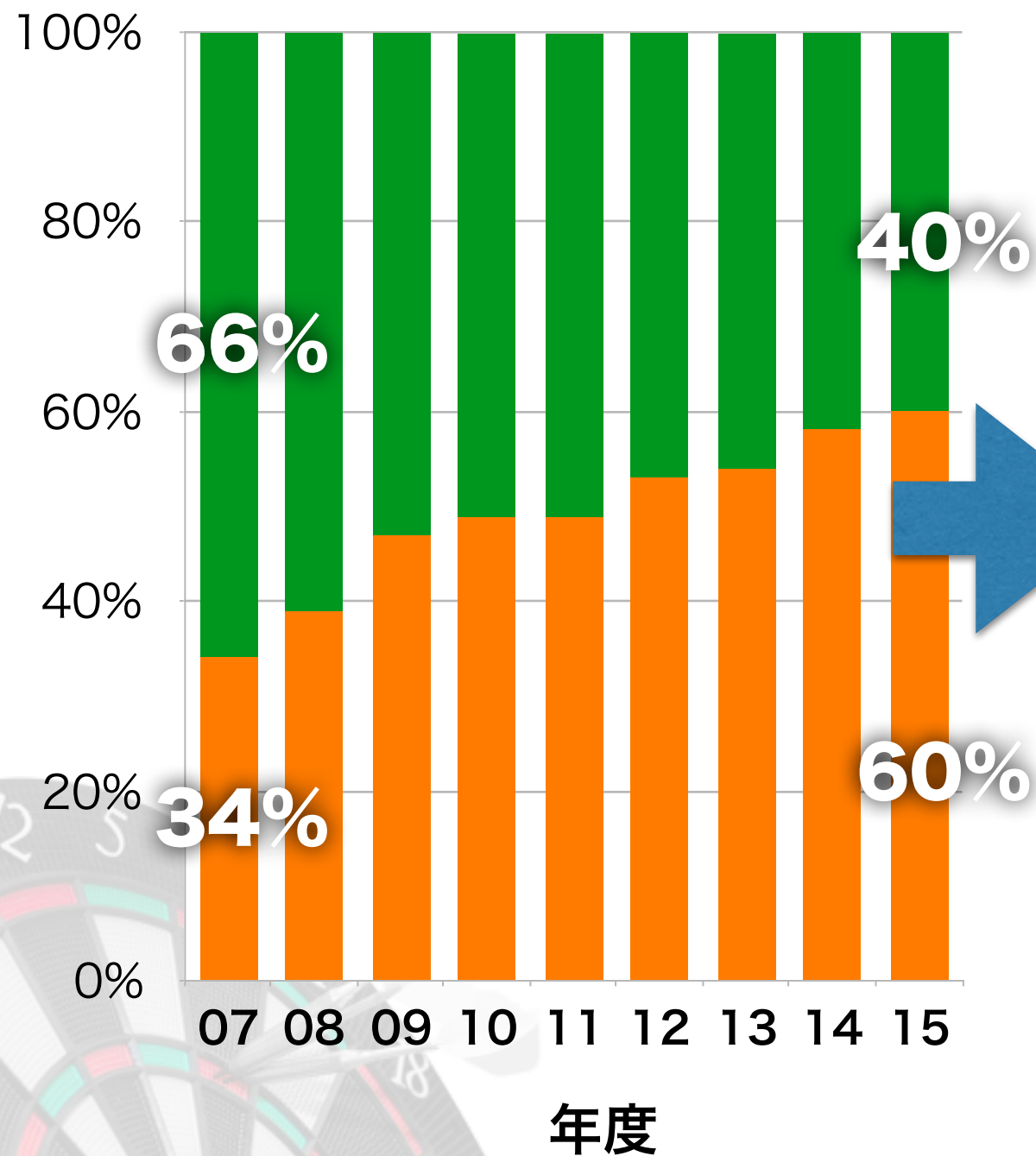
2018年度

中期経営計画

2016年度～2018年度

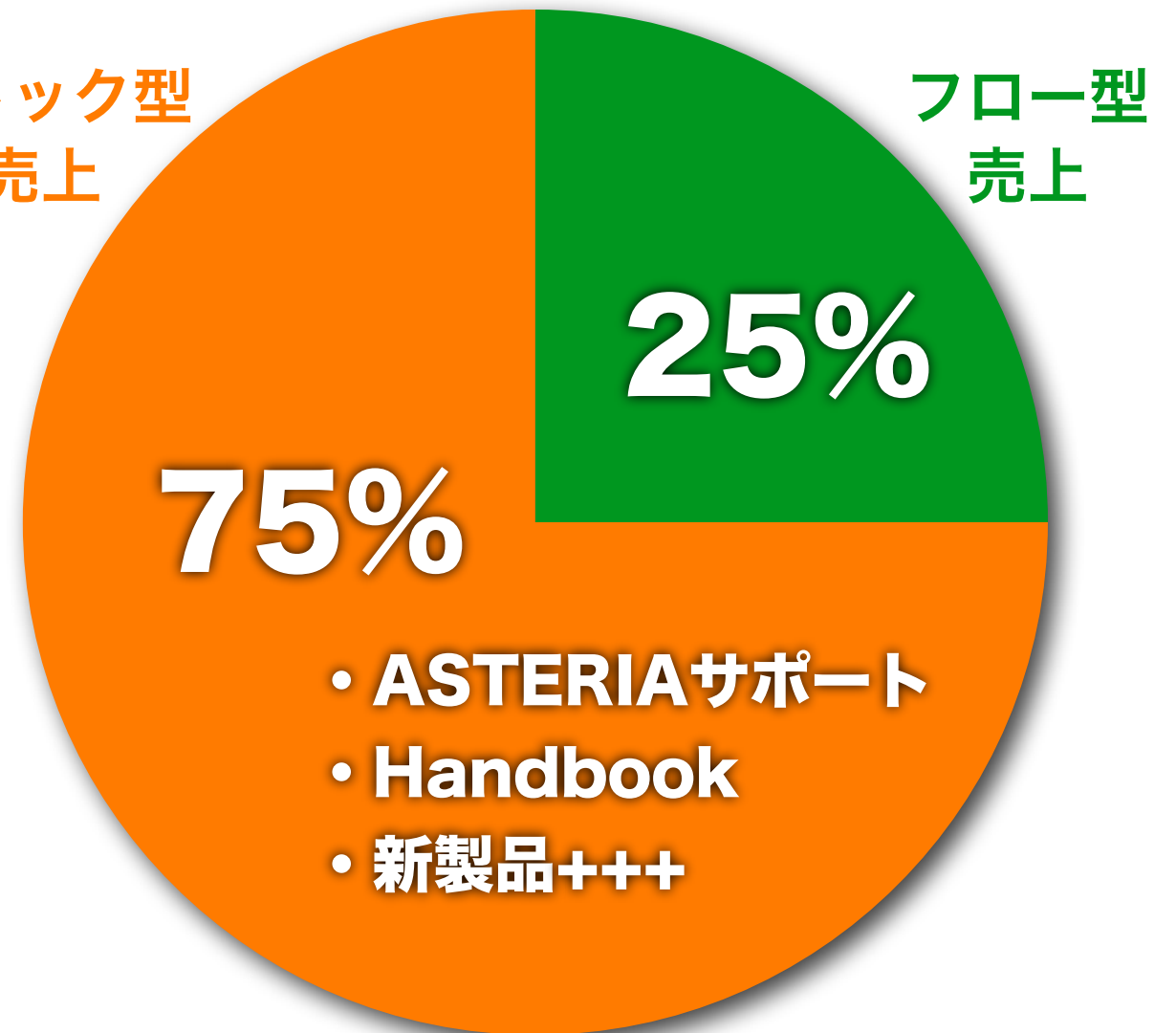
フロー比率を20%台に

(減らす)



ストック型
売上

フロー型
売上



2018年度

* フロー比率を20%台まで減らす

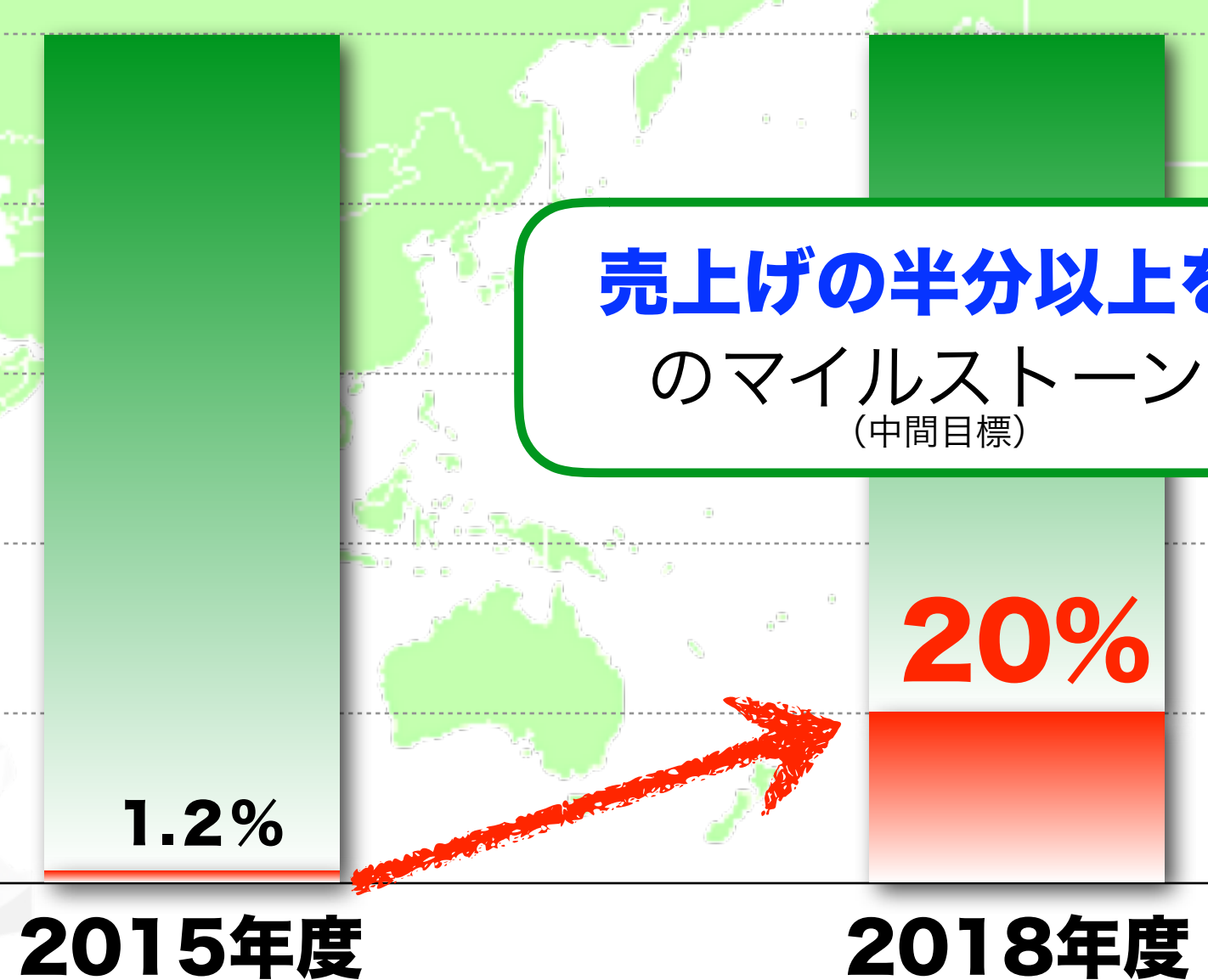
中期経営計画

2016年度～2018年度

海外売上率を**20%台**に

(増やす)

売上げの半分以上を国外で
のマイルストーンとして
(中間目標)






- *既存製品に加え
3つの新製品
- *積極的なM&A

ガバナンス強化（先取り）

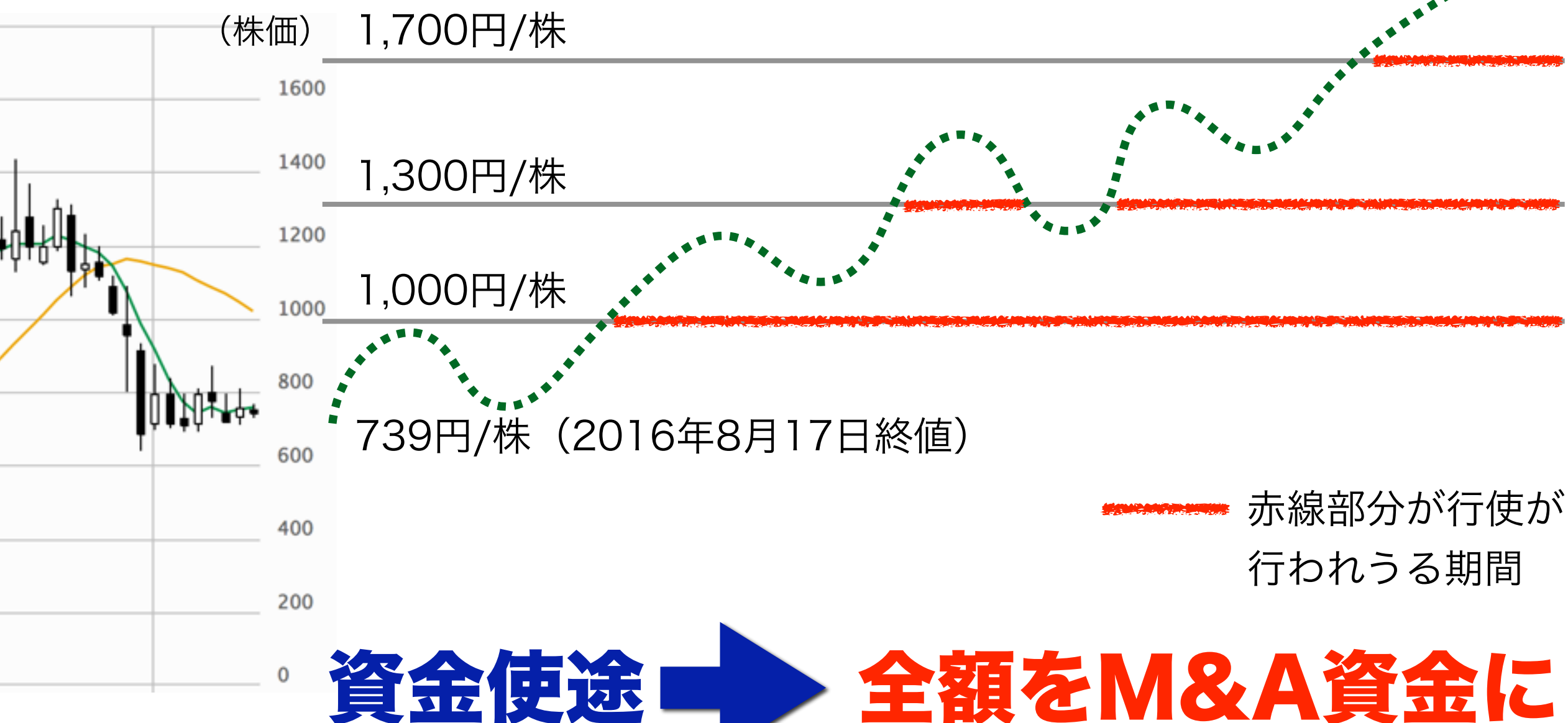
「継続的にコーポレート・ガバナンスの強化を意識した経営」

- ＊創業時より一貫して社外取締役を2名選任
- ＊社外取締役が過半数（監督と執行の分離）

社内取締役	社外取締役		
 <p>平野洋一郎</p> <ul style="list-style-type: none">▶ 当社創業者▶ 社長 / CEO▶ シンガポール赴任	 <p>Anis Uzzaman</p> <ul style="list-style-type: none">▶ 米Fenox Venture Capital CEO▶ 米国在住	 <p>田村耕太郎</p> <ul style="list-style-type: none">▶ National University of Singapore教授▶ シンガポール在住	 <p>五味 廣文</p> <ul style="list-style-type: none">▶ 西村あさひ法律事務所 顧問▶ 元 金融庁長官

M&Aに向けた最大30億円の資金調達

- 第三者割当新株予約権（UBS証券向け）による資金調達（2016年8月18日発表）
- 特徴：発表時時価より高い3段階の行使価格



さらに進化する「つなぐ」



システムをつなぐ



ヒトをつなぐ



モノをつなぐ

ソフトウェアで世界をつなぐ



infoteria





2017年3月期 第3四半期 決算説明会

本説明会及び説明資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、さまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なる場合がありますことをご了承ください。

(証券コード：3853)